

市バス・地下鉄の経営状況等について

- 1 経営の現状について
- 2 経費削減の取組について
- 3 新型コロナウイルス感染症対策について
- 4 今後の増客に係る取組について
- 5 各局区等へのお願い

【参考資料 1】市バスの系統別収支状況（営業係数：平成 30 年度～令和 2 年度）

【参考資料 2】地下鉄の駅別乗車客数（令和元年度～3 年度）

1 経営の現状について

- 市バス・地下鉄事業は、過去、厳しい経営状況を改善するため、数次にわたる経営健全化に取り組み、大幅に経費を削減するとともに、増収・増客に努めた結果、近年では両事業とも黒字を計上するなど大きく経営改善を果たしてまいりました。
- しかしながら、令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症が拡大し、京都を訪れる観光客の減少や外出の自粛、新しい生活様式の定着などにより、お客様数は大幅に減少しました。
- 令和2年度は、1日当たりのお客様数が両事業で令和元年度比▲24万2千人減少、年間約▲150億円もの運賃収入が激減するという極めて厳しい状況となり、地下鉄事業は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく経営健全化団体となりました。
- 令和3年度は、徹底した緊縮予算の中で、お客様の安全・安心を最優先に、新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで事業運営に取り組んだ結果、1日当たりのお客様数は、令和2年度と比較すると、両事業で4万8千人の増加となりましたが、度重なる「緊急事態宣言」の発出や「まん延防止等重点措置」の適用もあり、コロナ前（令和元年度）と比較すると、▲19万5千人と大きく減少、運賃収入も▲120億円の減収となり、2年間で約▲270億円の大幅な減収となる厳しい状況です。

【1日当たりのお客様数（速報値）】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	R3/R2 比	R3/R1 比
市 バ ス	35万7千人	24万8千人	26万8千人	+8.1%	▲25.1%
地 下 鉄	40万0千人	26万7千人	29万5千人	+10.4%	▲26.2%
両事業合計	75万7千人	51万5千人	56万3千人	+9.3%	▲25.7%
元年度比較	—	▲24万2千人	▲19万5千人	—	—

※ 端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。

【令和3年度の運賃収入（速報値）】

（単位 百万円（税抜き））

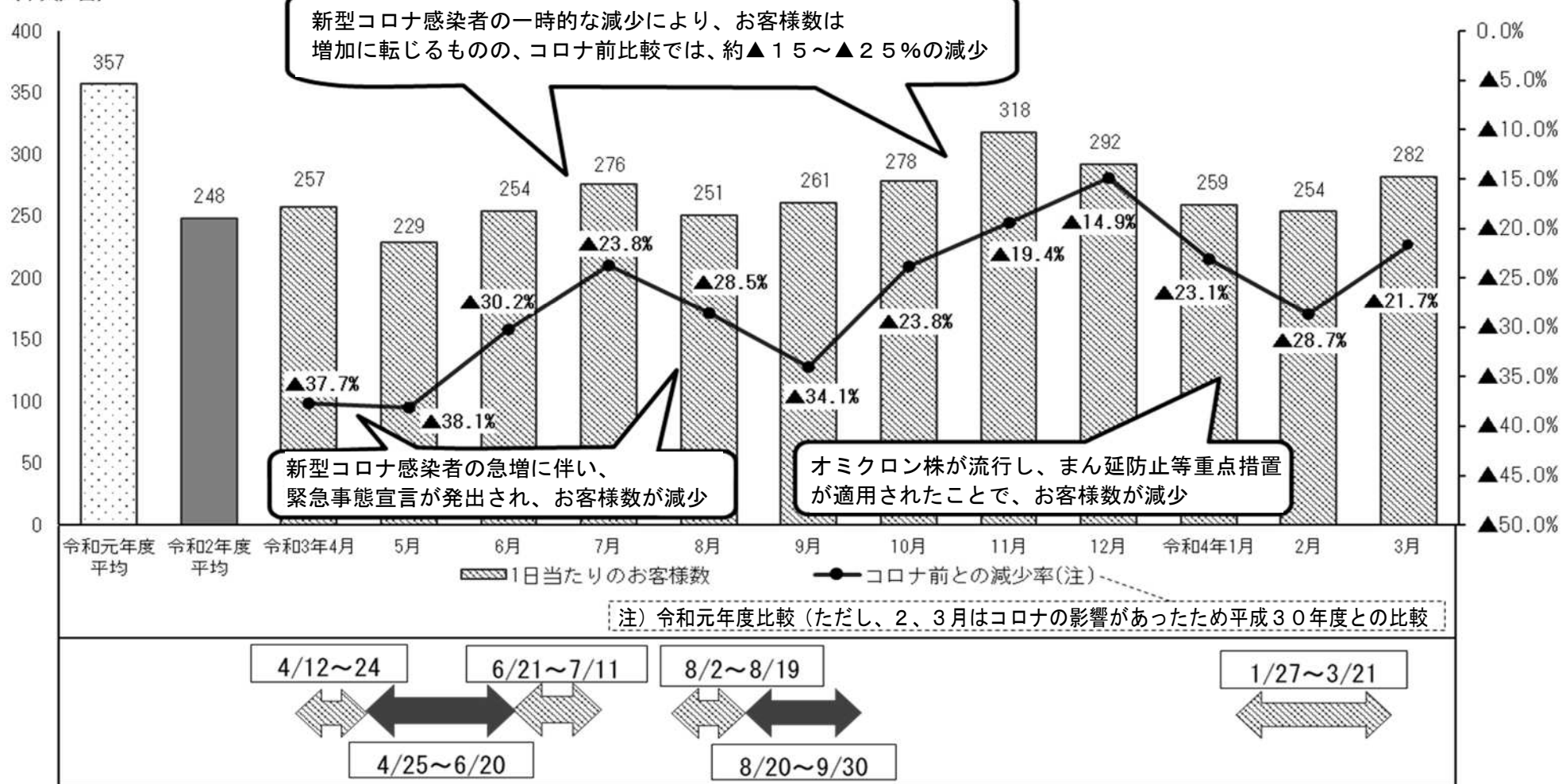
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	減収額計
市 バ ス	20,015	13,960	15,202	—
前年度比較	—	▲6,055	+1,242(▲4,813)	▲10,868
地 下 鉄	25,778	16,942	18,603	—
前年度比較	—	▲8,836	+1,661(▲7,175)	▲16,011
両事業合計	45,793	30,902	33,805	—
前年度比較	—	▲14,891	+2,903(▲11,988)	▲26,879

※ （ ）内は令和元年度比較

【令和3年度の1日当たりのお客様数の推移とコロナ前との減少率比較】

○ 市バス事業

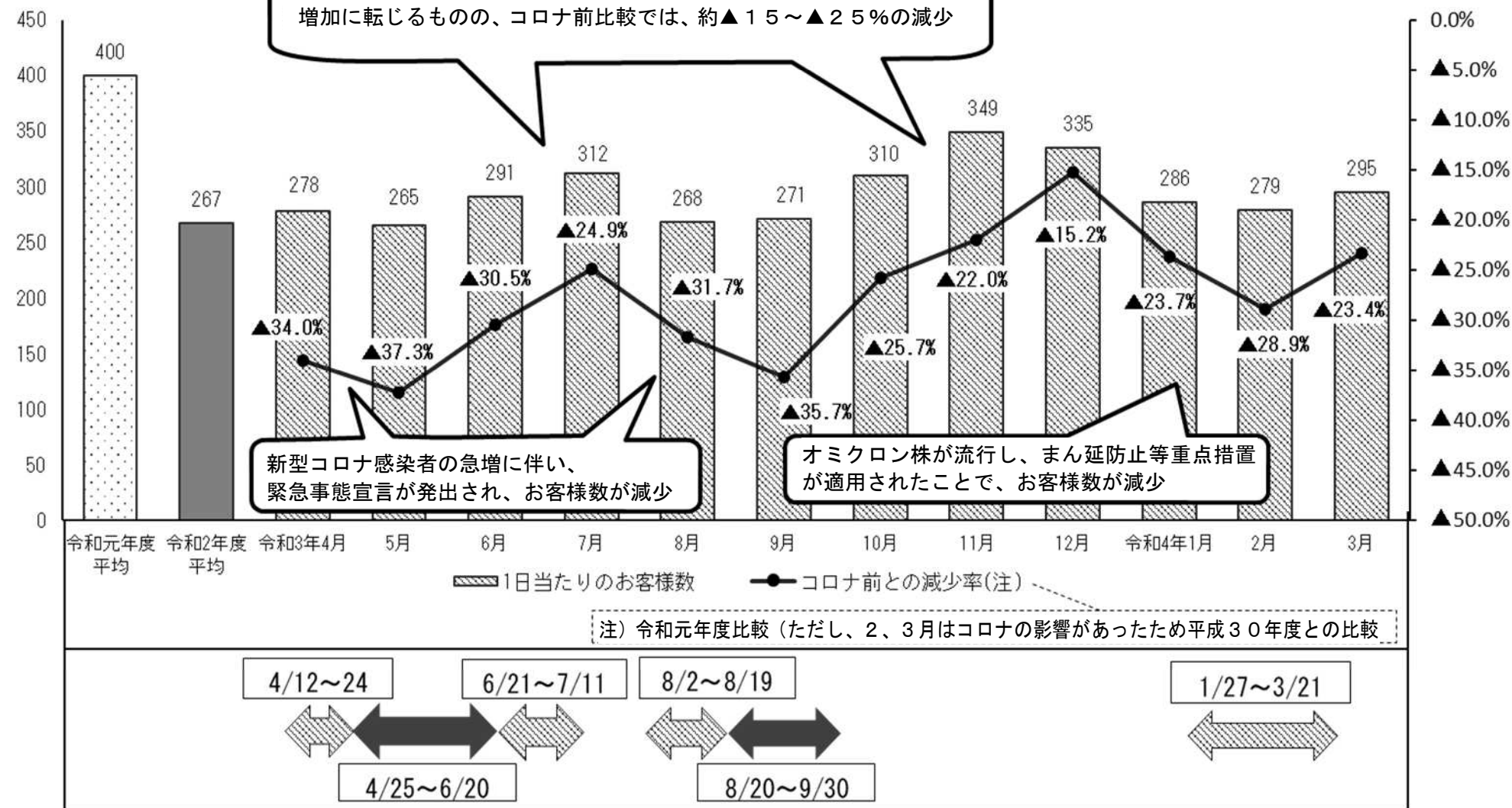
(千人/日)



※ ⇄ …緊急事態宣言, ⇄ …まん延防止等重点措置

○ 地下鉄事業

(千人/日)



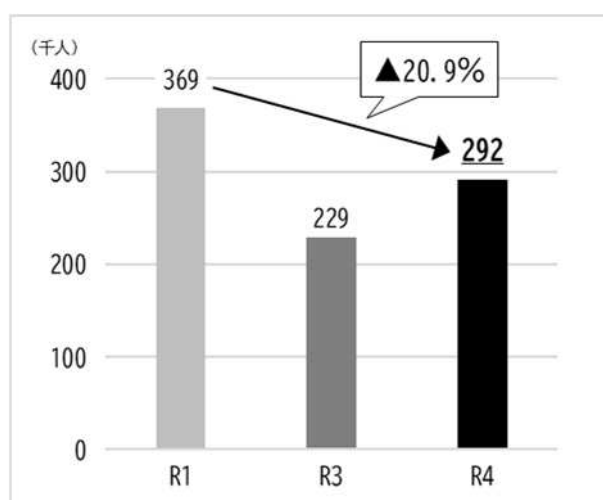
※ ⇄ …緊急事態宣言, ⇄ …まん延防止等重点措置

- 令和4年度に入ってから新型コロナウイルスの新規感染者数は、横ばいで推移しており、桜のシーズンや3年振りに行動制限がなかったGWには、市内各地で観光のお客様による賑わいが見られ、お客様数（4～6月の3か月平均）を令和3年度と比較すると、両事業ともお客様数は増加しています。
- しかしながら、コロナ前（令和元年度）との比較では、両事業とも▲20%を超える減少となっており、依然として厳しい状況にあります。

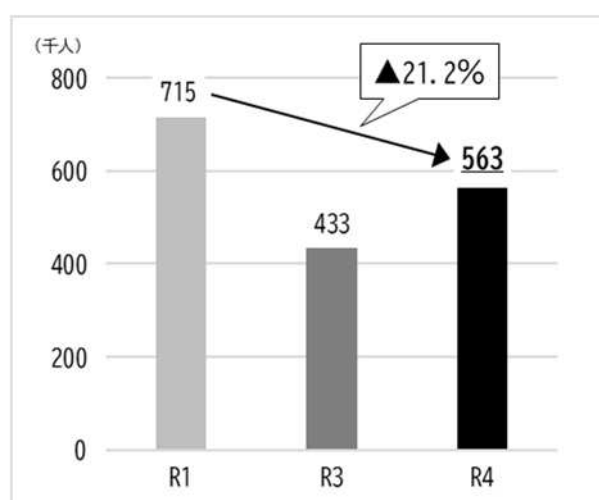
【令和4年度の1日当たりのお客様数（4月～6月の3か月平均）】

（市バスは計数器による降車客数、地下鉄は改札通過乗降人員に基づく速報値）

○ 市バス事業



○ 地下鉄事業



（単位 千人/日）

	R1	R3	R4	R4-R3比	R4-R1比
4月	378	243	288	18.3%	▲23.9%
5月	363	201	286	42.3%	▲21.2%
6月	365	242	301	24.2%	▲17.5%
平均	369	229	292	27.6%	▲20.9%

（単位 千人/日）

	R1	R3	R4	R4-R3比	R4-R1比
4月	748	474	563	18.9%	▲24.8%
5月	702	370	549	48.2%	▲21.9%
6月	694	458	579	26.2%	▲16.7%
平均	715	433	563	29.9%	▲21.2%

2 経費削減の取組について

危機的な状況を少しでも改善させるため、日々の安全運行や新型コロナウイルス感染症対策はしっかりと行ったうえで、あらゆる事業を点検し、事業の中止、規模縮小、延期を実施し、下表のとおり、令和2年度には約5億円、令和3年度予算編成時には約9億円の経費削減を行いました。この間の大幅な減収を埋めるまでには至っていません。

	市バス事業	地下鉄事業
令和2年度	・市バス旅客流動調査及びお客様アンケート調査の延期 ・“おもてなしコンシェルジュ”による案内活動の規模縮小 ・手ぶら観光や地下鉄・バスを組み合わせた観光ルートPRの中止 ・大型手荷物に対応したバス車両の導入拡大の中止 ・観光に便利な系統の新たな車両デザインの導入の中止 ・バス待ち環境の整備規模の縮小 ・市バス謎解きイベントの中止 ・その他経費の削減	・手ぶら観光や地下鉄・バスを組み合わせた観光ルートPRの中止 ・四条駅南改札口の改集札機の増設の延期 ・醍醐保守事務所他外壁・屋上防水工事の延期 ・竹田車両基地検車棟屋根他 塗装改修工事の延期 ・その他経費の削減 経費削減額（約5億円） 〔 市バス：268百万円 地下鉄：237百万円 〕
令和3年度	・御利用状況に見合ったダイヤの見直し（通勤・通学時間帯の足を確保したうえで、観光利用の増加を受け増便・新設してきた系統の昼間時間帯のダイヤを見直し） ・均一運賃区間の全系統への前乗り後降り方式の拡大の延期 ・バス待ち環境の新規整備の延期（バス停上屋、バス接近表示器、バスの駅） ・バス車両更新費の平準化（リースによるバス車両の調達、車両購入計画の見直し） ・バス車両特別清掃の見直し ・新規採用バス運転士に対する大型二種免許取得費用の助成方法の見直し ・“おもてなしコンシェルジュ”による案内活動の規模縮小 ・職員の給与減額措置 ・時間外勤務の縮減 ・その他経費の削減	・烏丸線全駅への可動式ホーム柵設置に向けた車両改造の延期 ・運行情報等お知らせモニターの設置延期 ・コトキン・ライナーの休止 ・保守管理費の削減 ・交通・観光案内経費の削減 ・職員の給与減額措置 ・時間外勤務の縮減 ・その他経費の削減 経費削減額（約9億円） 〔 市バス：683百万円 地下鉄：240百万円 〕

3 新型コロナウイルス感染症対策について

お客様に安全・安心に市バス・地下鉄を御利用いただくため、車両の抗ウイルス・抗菌加工をはじめとする新型コロナウイルス感染症対策を徹底しています。

【主な対策】

① 車両・駅等の抗ウイルス・抗菌加工

- ・ 市バス・地下鉄車両の抗ウイルス・抗菌加工



(抗ウイルス・抗菌加工済ステッカー)

- ・ 地下鉄全駅、北大路バスターミナル等のお客様用トイレの抗ウイルス・抗菌加工
- ・ 地下鉄券売機及び精算機への抗菌シートの設置

② その他車両・駅等における対策

- ・ 車両・駅の換気対策
 - ▶ 市バス・地下鉄車両及び駅では、換気扇の稼働のほか、車内の窓の一部開放を実施



令和2年度以降導入の市バス車両における新たな仕様

- ・ 換気扇の増設（2台→3台）
- ・ 座席シートへの抗ウイルス加工生地を導入
- ・ お客様と運転士相互の感染予防対策のため、最前列の座席を荷物置き場に変更

- ・ 駅トイレ手洗い蛇口の自動水栓化
- ・ アルコール消毒液の設置
 - ▶ 地下鉄全駅のほか、多くのお客様が御利用されるバスターミナルや市バス・地下鉄案内所及び定期券発売所にアルコール消毒液を設置
- ・ 駅有人改札口における飛沫防止用アクリル板の設置
- ・ 駅構内の消毒措置（階段手すり等）
- ・ 主要ターミナルにおける検温機器の設置
 - ▶ 京都駅など主要8駅14箇所及びバスターミナル2箇所に設置

③ 啓発活動の実施

感染拡大を防止しつつ市バス・地下鉄を御利用いただくため、以下の取組により、御利用者の皆様に向けた啓発を実施

- ・ 「交通局ニュース」や「太秦萌」デザインのポスター等による啓発
- ・ 駅構内等における感染予防に係る啓発放送の実施
- ・ SNSや交通局ホームページ等を活用した情報発信



(啓発ポスターデザイン)

④ 市バス・地下鉄の御利用状況発信

市バス・地下鉄の週単位の御利用状況や、時差通勤の目安となる地下鉄主要駅における朝夕ラッシュ時間帯の御利用状況を発信（交通局ホームページに掲載）

4 今後の増客に係る取組について

- 今後のお客様数については、テレワークなど新たな生活様式の定着等により、新型コロナウイルス感染症拡大前の状況までは戻らないことが見込まれる中、令和4年3月策定の「京都市交通局市バス・地下鉄事業経営ビジョン【改訂版】」（以下「ビジョン改訂版」という。）では、引き続き「地下鉄・市バスお客様1日80万人」を目指すことに変わりはありませんが、まず達成すべき目標として、令和10年度の1日当たりのお客様数を、市バスで322千人、地下鉄で366千人を掲げており、目標達成に向けて更なる増客に取り組むこととしています。
- お客様増加策の実施に当たっては、将来的なお客様の回復に伴う混雑を生じさせないという視点を踏まえ、また、生産年齢人口が徐々に減少し、利用目的が通勤・通学から買い物、通院などに変化することなど、需要構造の変化を捉えてまいります。

【ビジョン【改訂版】に掲げるお客様増加策】

① 「安全・安心」な運行の確保とお客様サービスの更なる向上

- ・ お客様に「安全・安心」に御利用いただくため、交通事業者としての最大の責務である輸送の安全を確保します。
- ・ 安全・安心の運行サービスを提供していくため、安全運行に係る設備投資は着実に実施します。
- ・ より質の高いお客様接遇の提供により、サービス向上を図ります。

② 民間事業者等と連携した公共交通の利用促進

- ・ 市バス・地下鉄だけでなく、他の鉄道・バス事業者も含めた公共交通全体のネットワークの利用促進を図るため、「チーム『電車・バスに乗るっ』」の活動を推進します。
- ・ また、新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、商業施設や集客施設等とのタイアップや大学、企業との連携による定期券の販売促進を通じた市バス・地下鉄の利用促進に取り組めます。
- ・ 市役所全庁を挙げて、市民の財産である市バス・地下鉄の利用促進に取り組めます。

③ 沿線地域にお住まいの皆様との連携による市バス利用促進の取組

沿線地域にお住まいの皆様が主体となって取り組むMM（モビリティ・マネジメント）の活動に参画し、利用促進に努めます。

④ 人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の推進

- ・ 『『歩くまち・京都』総合交通戦略』との連携により、市民の皆様の協力を得ながら、人と公共交通優先のまちづくりを推進します。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車による観光の増加が見込まれることから、自動車流入の抑制を図るため、公共交通の利用促進に取り組めます。

【令和4年度の取組例】

○ 経営状況等の「見える化」の推進

ビジョン改訂版を着実に実施し、市民の皆様やお客様の御理解を得ながら、持続可能な事業運営を進めていくためには、伝わりやすく効果的な情報発信が重要であるとの考えの下、交通局が持つ多様な広報媒体において、マンガやイラストを積極的に用い、視覚的にも伝わりやすく訴求性の高い情報発信に努めることで、経営状況等の「見える化」を推進します。

市バス・地下鉄を次の世代に引き継ぐために、経営状況等の「見える化」を通じて、一人でも多くのお客様に市バス・地下鉄の厳しい現状を御理解いただき、御利用に繋げてまいります。



(交通局HPトップ画面<抜粋>)

○ 定期券の販売促進活動

① 企業への販売促進

- 市バス定期券等の販売促進のため、経済団体を訪問し、定期券のPRを依頼。加盟企業への情報発信や、会合等で定期券等のPR物を配布していただくなどの御協力を得られることになりました。

<訪問先団体（令和4年7月時点）>

京都商工会議所、京都経営者協会、京都工業会、京都経済同友会、
京都府中小企業団体中央会

- 今後は、市内の企業を個別に訪問し、通勤定期券の販売促進を積極的に展開してまいります。

② 大学へのPR展開

- 通学に市バス・地下鉄の利用が見込まれる市内外の大学に、通学定期券のメリットや購入方法などを紹介したガイドブックを送付。各大学において学生への周知に活用いただいています。
- 今後は、市内大学を個別に訪問し、通学定期券の販売促進を積極的に展開してまいります。

○ 民間事業者との連携

① 「京都からもうひとつ旅」の発行（４月、１０月（予定）発行）

京阪電車と連携し、市内中心部だけでなく、更に足を伸ばしていただくことを目的に「鷹峯・伏見」等にスポットを当てたリーフレットを制作、京阪の主要駅と地下鉄の各駅、京都総合観光案内所等で配布。また、観光MICE推進室及び京都市観光協会が取り組んでいる「とっておきの京都※」と連携し、双方のウェブサイトにて相互バナーリンクの掲出等を実施

※ 地域や民間事業者と連携し、隠れた名所の魅力を発掘・活用することにより、市域全体への観光客の誘客を促進させ、観光地の混雑緩和を図るとともに、人と人との新たな交流を生み出し、地域の活性化に繋げることを目的とした取組



（４月発行分の表紙）

② 道路混雑を避けたスムーズな観光ルートのPR（令和４年４月２８日(木)～５月８日(日)）

JR西日本と連携し、GWの多客時対応として、鉄道とバスを組み合わせた観光ルートや、京都駅前バス乗り場の状況・観光地の混雑状況を確認できるウェブサイトへ誘導するため、Maasアプリ「WESTER」のプッシュ通知で呼びかけるとともに、JR京都駅及び地下鉄京都駅構内において、ウェブサイトへ誘導するQRコードを掲載したポスターを掲出

お知らせ詳細

WESTER

〈京都おすすめ観光ルート案内〉道路混雑を避けたスムーズな観光ルートをチェック！

京都へ多くの観光客がお越しになるGWなどは、道路が混雑しがちです。目的地付近まで道路状況に影響されない「鉄道」を利用し、「鉄道」と「バス」を上手に組み合わせて、スマートな京都観光をお楽しみください。

・観光地へのおすすめ観光ルート！！

混雑を回避できるルートをチェック

・京都駅前バス乗り場の状況をチェック

【LIVE】京都駅前バス乗り場
ライブカメラ（京都市観光協会公式）

（WESTERの通知画面）

③ 「KARASUMA大茶会」の開催（時期調整中）

大丸京都店と連携し、開催。乗車券の提示による優待を組み込むことにより、公共交通の利用を促進

④ 「おすすめ観光ルートマップ」の作成（秋頃を予定）

JR西日本と連携し、秋の観光シーズンに合わせて、JRと市バス・地下鉄を組み合わせた観光ルートを紹介するマップを制作し、JRの主要駅、地下鉄の各駅で配布し、市バスの混雑緩和を図ります。

5 各局区等へのお願い

- 本日の本部会議終了後、各局区等に対し、「市バス・地下鉄を守るためのアクションプログラム（旧「市バス・地下鉄お客様１日８０万人に向けたアクションプログラム」）」の更新依頼を行います。
- 同プログラムでは次の３点を重点方針として掲げてまいりますので、各局区等におかれましては、この方針に基づき、市バス・地下鉄の増客に資する取組の展開について積極的に御検討くださいますようお願いいたします。

【重点方針】

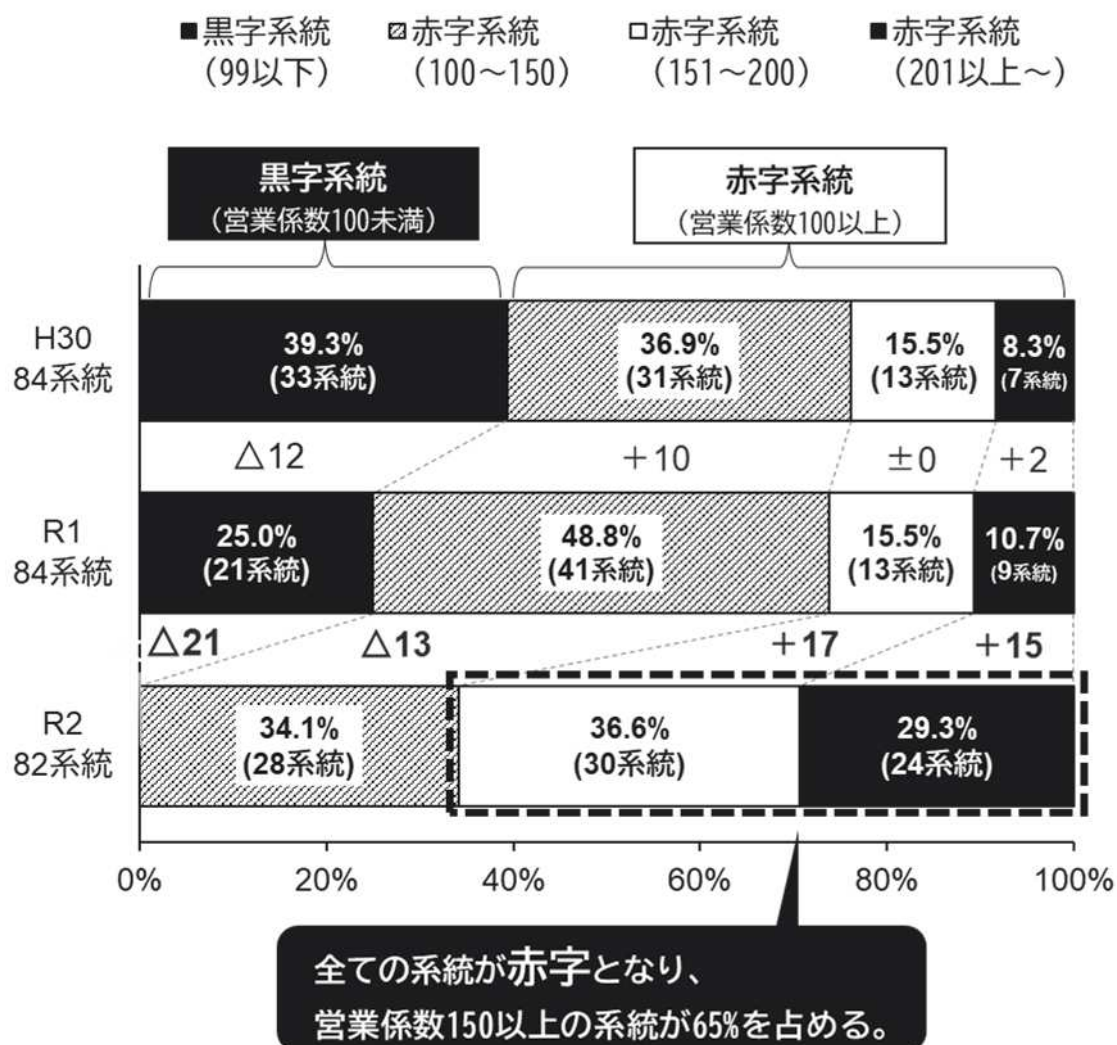
- ① 市バス・地下鉄のネットワークを核としたまちづくりの推進
- ② 観光・集客イベント開催時の市バス・地下鉄の利用促進
- ③ 地域や事業者との協働による公共交通優先の「歩くまち・京都」の取組推進

【参考資料 1】市バスの系統別収支状況（営業係数：平成30年度～令和2年度）

○ 交通局では、市民の皆様在市バスの現状を知っていただき、より一層御利用いただくため、市バス各系統の営業成績を表す「営業係数※」を毎年公表しています。

※ 100円の収入を得るために必要な費用を示す指標で、100未満なら黒字系統、100を超えれば赤字系統であることを示します。

○ これまで、黒字系統が赤字系統を支えることで、市民の生活の足を確保してきました。しかしながら、令和2年度はお客様数が激減。経費の削減により支出を抑制したものの、全ての系統で営業係数が悪化し、令和元年度に黒字であった21系統は全て赤字となり、営業係数が150を超える系統が全体の約65%を占めています。



【参考資料2】地下鉄の駅別乗車客数（令和元年度～3年度）

地下鉄における令和3年度の駅別乗車客数について、対令和2年度比では全駅で増と
なっていますが、コロナ前（対令和元年度）との比較では、全駅で減となっています。

○ 烏丸線

（単位 人/1日当たり）

	元年度	2年度	3年度	増減数 (元年度比)	増減率 (元年度比)	増減数 (2年度比)	増減率 (2年度比)
国際会館	12,987	8,107	9,557	▲ 3,430	▲26.41%	1,450	17.89%
松ヶ崎	5,755	3,944	4,278	▲ 1,477	▲25.66%	334	8.47%
北山	7,301	5,049	5,941	▲ 1,360	▲18.63%	892	17.67%
北大路	15,721	11,042	12,663	▲ 3,058	▲19.45%	1,621	14.68%
鞍馬口	5,034	3,874	4,107	▲ 927	▲18.41%	233	6.01%
今出川	13,555	7,956	9,910	▲ 3,645	▲26.89%	1,954	24.56%
丸太町	11,050	8,647	9,468	▲ 1,582	▲14.32%	821	9.49%
烏丸御池	19,545	12,021	13,350	▲ 6,195	▲31.70%	1,329	11.06%
四条	51,645	32,472	36,209	▲ 15,436	▲29.89%	3,737	11.51%
五条	7,436	5,319	5,814	▲ 1,622	▲21.81%	495	9.31%
京都	65,463	36,647	41,451	▲ 24,012	▲36.68%	4,804	13.11%
九条	2,750	2,169	2,318	▲ 432	▲15.71%	149	6.87%
十条	3,931	3,315	3,490	▲ 441	▲11.22%	175	5.28%
くいな橋	3,025	2,493	2,761	▲ 264	▲8.73%	268	10.75%
竹田	9,988	6,749	6,895	▲ 3,093	▲30.97%	146	2.16%
近鉄連絡	17,821	13,486	15,563	▲ 2,258	▲12.67%	2,077	15.40%
烏丸線計	253,007	163,290	183,775	▲ 69,232	▲27.36%	20,485	12.55%

○ 東西線

（単位 人/1日当たり）

	元年度	2年度	3年度	増減数 (元年度比)	増減率 (元年度比)	増減数 (2年度比)	増減率 (2年度比)
六地蔵	6,969	5,282	5,436	▲ 1,533	▲22.00%	154	2.92%
石田	3,588	3,083	3,193	▲ 395	▲11.01%	110	3.57%
醍醐	6,466	5,586	5,773	▲ 693	▲10.72%	187	3.35%
小野	3,827	3,077	3,193	▲ 634	▲16.57%	116	3.77%
柳辻	8,845	7,001	7,622	▲ 1,223	▲13.83%	621	8.87%
東野	6,252	4,988	5,244	▲ 1,008	▲16.12%	256	5.13%
山科	22,393	16,315	17,524	▲ 4,869	▲21.74%	1,209	7.41%
御陵	4,310	3,500	3,650	▲ 660	▲15.31%	150	4.29%
蹴上	5,325	3,139	3,444	▲ 1,881	▲35.32%	305	9.72%
東山	9,400	4,902	5,711	▲ 3,689	▲39.24%	809	16.50%
三条京阪	13,539	9,651	10,356	▲ 3,183	▲23.51%	705	7.30%
京都市役所前	14,335	9,059	9,674	▲ 4,661	▲32.51%	615	6.79%
烏丸御池	5,857	5,057	5,129	▲ 728	▲12.43%	72	1.42%
二条城前	5,067	2,665	2,733	▲ 2,334	▲46.06%	68	2.55%
二条	10,717	7,163	7,827	▲ 2,890	▲26.97%	664	9.27%
西大路御池	6,109	4,682	4,956	▲ 1,153	▲18.87%	274	5.85%
太秦天神川	9,594	6,595	7,283	▲ 2,311	▲24.09%	688	10.43%
京阪連絡	4,315	2,215	2,501	▲ 1,814	▲42.04%	286	12.91%
東西線計	146,908	103,960	111,249	▲ 35,659	▲24.27%	7,289	7.01%